藍住町内在住の小中学生を対象に、
藍住町議会夏休み絵画コンクール
を実施します!!

第118号より、
徳島県電子書籍ポータルサイト
「tokushima ebooks」
(トクシマイーブックス)からも
ご覧いただけます!!

町公式ラインから
議会だよりの掲載情報を
配信します!!

第118号
2024(令和6)年8月25日

藍住町議会
ホームページ
(アドレス)
https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/

6月定例会
一般質問 ～町政のここが聞きたい～ … P.4～9
議会のうごき・わたしの一言……P.12

藍住町 議会だより

～熱中症対策標語コンテスト授賞式～

６月定例会

６月議会定例会が６月５日から19日までの15日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では６人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

- 令和６年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認……可　決
- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認……可　決
- 藍住町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認……可　決
- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認……可　決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認……可　決
- 令和６年度藍住町一般会計補正予算……可　決
- 令和６年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算……可　決
- 藍住町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正……可　決
- 藍住町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正……可　決
- 藍住町東中富桜づつみ公園の設置及び管理に関する条例の一部改正……可　決
- 藍住町公共下水道条例の一部改正……可　決
- 徳島県市町村総合事務組合規約の変更……可　決
- 圧縮式塵芥車の購入契約の締結……可　決
  契約金額　1,196万9,760円
  契約の相手方　いすゞ自動車中国四国株式会社
- 脱着装置付コンテナ専用車の購入契約の締結……可　決
  契約金額　727万4,960円
  契約の相手方　いすゞ自動車中国四国株式会社

～報　告～

- 令和５年度藍住町一般会計繰越明許費繰越計算書（※）の報告
  繰越総額　３億9,037万1,685円
- 令和５年度藍住町水道事業会計予算繰越の報告
  繰越総額　１億1,738万円
- 令和５年度藍住町下水道事業会計予算繰越の報告
  繰越総額　328万6,000円
- 藍住町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出

（※）繰越明許費とは？

特定の事業や特別の事情（天候の都合など）で、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、予算の定めることにより、翌年度に繰り越して使用できる経費（地方自治法第213条）。

町長は翌年度の５月31日までに繰越計算書を調製し、次の議会の会議に報告しなければならない（地方自治法施行令第146条）。

令和６年度　一般会計補正予算

（1 万円未満四捨五入）

歳入歳出それぞれ　**4億2,845万円増額**

予算総額　**127億9,000万円**

～主な補正の内容～

総　務　費

◆公共施設予算管理システム導入事業…… 347万円

民　生　費

◆新たに住民税非課税等となる世帯給付金事業…… 1億2,825万円

◆定額減税を補足する調整給付金事業…… 2億9,783万円

消　防　費

◆木造住宅耐震改修事業補助金…… 330万円

令和６年度　特別会計補正予算

（1 万円未満四捨五入）

会　計　名	補　正　額	補　正　後　の　額
国民健康保険事業	619万円	34億1,471万円

定　例　会　案　内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は９月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページで掲載しています。

次号は11月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ　議会事務局　☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投　稿　規　定

① 住所・氏名・電話番号を明記。
② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
③ 字数は500字以内。
④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
※郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
　議会事務局　E-mail:gikai@aizumi.i-tokushima.jp

元木（もとき）　春香（はるか）　議員

女性支援新法について
政策推進室が中心となって、支援体制の構築、計画、周知に努めていく

問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が令和6年4月1日に施行された。基本計画の策定は努力義務とされているが、藍住町の現在の取組状況は。

答 策定に向けて検討を進めている。

問 類似団体と比べ、非常に厳しい職員数である。このような背景を踏まえつつも、複数の分野にまたがる課題をどのような体制で問題の解決や支援のサポートを行っているのか。

答 必要に応じて関係部署や機関、地域の方との連携を取り、問題解決に向けた適切な支援ができるよう取り組んでいる。

問 新しい法律ということもあり、必要性がありながらも、知らない人がたくさんいると考えられる。藍住町の端緒として相談窓口の周知方法は。

答 町ホームページ等の活用やリーフレットを作成し、町社会福祉協議会をはじめ、関係機関に配布するなど、広く周知に努めていく。

保育士の離職について
保育士が自治体に相談しやすい体制整備や巡回支援事業等の実施を念頭に置いた取組を進めたい

問 保育士の一斉退職は、精神力、体力的な負担により、十分な保育ができず、事故につながる懸念がある。このような事態とならないために、現在、何か取り組んでいることはあるか。

答 各園の取組状況を調査し、全ての園で、施設外部者への個別相談体制が整備されていることを確認した。

問 監査を行っているが、保育士の労働環境に関して町はどこまで対応ができるのか。

答 利用定員と運営に関する基準をもとに、運営の適正を確認している。

町立保育所の現在の状況と待機児童について
0歳児のみではなく、全体的な定員について検討していきたい

問 中央保育所の受入数の推移について、令和6年4月1日を起点に、過去5年間の状況を具体的な数字で教えてください。

答 定員数は、204人から77人への削減となっている。入所数は、年度当初のため定員に対して少なくなっているが、加配児童の年齢や支援の程度により、定員と入所数が同数とならないことを御理解いただきたい。

問 令和5年度に、4月1日時点で中央保育所は定員数に対して児童数に20人の枠がある。同じ時点で認可保育園での隠れ待機児童が1歳児で8人、2、3歳児で各9人ずついるが、そういった場合の受け皿としての利用はできなかったのか。

答 加配の必要なお子さんがたくさんいたために0歳児をお預かりする余裕がなかった。

町立中央保育所

竹内（たけうち）　君彦（きみひこ）　議員

図書館内、自習スペースについて

効果的な勉強時間が確保できるよう、案内していきたい

問 自習スペースを設けてから現在までの利用状況はどうなっているのか。

答 冬休み9日間で63人、春休み15日間で36人、1学期開始から5月末までの27日間で75人の利用があった。

問 図書館のトイレの改築に伴い、自習スペースの席数が増えたと聞いているが、現在の席数と、夏休みへ向けての周知方法は。

答 冬休みの試験的設置期間の9席に加え、春休みからの常設期間は12席で運用している。周知方法は、常設が決まった時点で、広報や図書館のホームページに案内を掲載している。

図書館、書籍貸出しについて

電子図書館を導入する図書館は、県内では、県立図書館と、徳島市、阿南市、三好市

問 近年、電子書籍の普及が進んでいるが、藍住町では、今後、電子書籍の導入については考えているのか。

答 導入図書館などから情報を収集し、導入費用、事業効果、利用者の要望なども見極めながら検討していきたい。

熱中症対策について

大塚製薬株式会社と、この春から連携

問 学校や地域コミュニティでの熱中症予防教育の実施状況、熱中症対策はどうなっているか。

答 同社担当者による熱中症説明会を実施。あわせて標語コンテストを行い、ゆめタウン館内で、夏休み期間中の標語の掲示により、広く町民にも啓発する。また、イオン飲料を町内幼稚園、小学校、中学校に提供している。

問 日よけテント、ミスト等の進捗状況は。

答 日よけテントは、藍住中学校では昨年度から設置。東中学校でも今年度から設置を行う。また、ミストも適切な時期に運動場の手洗い場等を利用し始める。

問 各小中学校での冷水機の設置状況、使用状況はどうなっているのか。

答 小学校には現在、設置はない。藍住中学校では計5台、藍住東中学校では計3台、稼働中である。

問 藍住町民体育館、体育センター、武道館などの町の体育施設での熱中症対策はどうなっているか。

答 空気の循環を行い、利用いただいている。アリーナ内、館内の気温が暑さ指数で激しい運動が中止となった場合は、中止をお願いしている。施設の利用が多い団体に対しては、会議等の機会を利用し、スポーツ庁等のチラシを用い、説明を行うとともに、各施設の入口等にチラシを提示し、周知、啓発を行っている。

ミスト設置（藍住東中学校）

小川（おがわ）　幸英（ゆきひで）　議員

障害児支援について
アクセスしやすい相談支援体制を強化していく

問 旧の日中一時支援事業契約事務所一覧表は対象年齢の表記もなく小中学生に対応してくれる施設が少ない。新しく発表した一覧表は障害児、障害者と分けているが徳島市の場合、乳幼児、小学生、中学生、高校生、知的障害者、重心医療と分けた一覧表を作っている。本町においても保護者の方が使いやすい事業者一覧表にしてはどうか。

答 法に基づく年齢区分としているため、そのまま一覧表を今後も利用していきたい。

問 日中一時支援に係り、町に相談に来た人への対応は。

答 内容や希望により、適正な支援に向けた調整を行っている。

問 必要に応じて認可施設の数を増やし間口を広げ、障害児を持つ家庭が安心して生活ができるような取組は。

答 随時事業所登録をし、障害児だけではなく、障害のある方の御家族が安心して御利用いただけるよう、サービス等の質の向上に取り組んでいく。

不登校対策について
魅力ある学校を目指していく

問 不登校児童の支援に対する基本的な考え方は。

答 不登校の児童生徒の状況に合った学びの場を確保するとともに、学校関係者や保護者等と情報共有し、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援をすることが重要。

過去５年間の不登校の人数

※当該年度末の在学者のうち、当該年度間に30日以上欠席した児童生徒で、理由が不登校で報告されている児童生徒数　（人）

	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	18	22	31	47	55
中学校	36	34	26	54	68
合計	54	56	57	101	123

過去５年間のキャロッ子学級在籍者数

※当該年度末現在　（人）

	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	7	2	5	6	6
中学校	22	18	15	24	21
合計	29	20	20	30	27

問 不登校になった際どこに相談していいのか分からないという事例もあるが課題の認識は。

答 学校からの働きかけや相談窓口の整備、ホームページへの掲載や、全校児童生徒への案内の配布に努めている。

問 キャロッ子学級の取組について、学校の先生とキャロッ子学級の先生は密接に連携しているか。

答 活動状況や出席状況を各中学校は毎日、各小学校は毎週、情報を共有している。

空き家対策について
今年度、実態調査を実施

問 県下の市町村の多くが空き家除却支援事業に補助金を出しているが本町の取組は。

答 国においては、老朽化した危険な空き家等の除去に対する補助制度、老朽危険空き家等除去支援事業があり、本町では、こちらを優先して対応している。

問 住民の方から空き家の倒壊や台風による建築材料の飛散、火災や不審者の侵入による犯罪の発生や雑草の放置による農作物の障害をもたらすとの声を聞いているがどう対処しているか。

答 状況を把握した後、土地建物の所有者や相続人に対して、現況写真を添えて、改善を促す通知を送るなどしている。

問 所有者と連絡できる対策を取っているか。

答 登記や戸籍情報などにより、適切に調査を進めている。

栗島（くりしま）　和義（かずよし）　議員

小学校・中学校の体育館の空調設備について

重要な課題であると認識

問 昨今の気候変動を考えると、本町の小中学校の体育館では、学校活動や社会体育活動さらに災害時避難所としての環境に望ましいとは言い難い状況であるため、空調設備の整備が必要ではないか。

答 空調設備の設置は、文部科学省の学校施設環境改善交付金事業の対象であることや、体育館が避難所に指定されているため、活用できる地方債があることなどから、関係部署と協議を進めたいと考えている。

問 非常時には必須機器の動力源としても機能するタイプがある、ガスヒートポンプ式の空調設備を検討すべきではないか。

答 電気式の空調設備よりもコストが高く、設置スペースを広く必要とし、定期的なメンテナンスなどが必要という課題がある。教育委員会と連携しながら、最適な設備整備を目指していきたい。

災害に備える携帯トイレの備蓄について

広く町民の皆様に周知を図っていく

問 今後の災害に備えて、想定される最大避難者数などを基に、携帯トイレの備蓄計画の見直しと同時に、必要数を調達すべきと考えるが、備蓄の現状と今後の方針は。

答 令和5年度末現在での備蓄数は3万500個で目標備蓄数に達していない。年次的に備蓄をしているため、今後も引き続き、計画どおりに備蓄を進めていきたい。

問 通常トイレ施設が使用不能とならないように、発災直後の適切な携帯トイレの使用方法等を、各避難所の運営マニュアル等に反映すべきではないか。

答 どのような方法での周知がよいかなど、しっかりと検討していき、町民の皆様に、災害時のトイレの使用方法について、御理解をいただけるように努めていきたい。

問 介護福祉施設での携帯トイレ、簡易トイレの備蓄等の状況を速やかに確認し、備蓄を支援していくべきではないか。

答 各施設におけるBCP、業務継続計画などで定められている。BCPなどに基づいて適正に整備を進めていただきたい。

軟骨伝導イヤホンの活用について

利用しやすい窓口であることが大切

問 耳の聞こえに、不安を感じておられる方とのコミュニケーションのさらなる配慮として、庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンを導入すべきではないか。

答 既に導入している他の自治体の状況を参考に、試験的導入に向けて検討していきたい

その他の質問

○5歳児健診の実施と、健診後のフォローアップ体制の充実について

携帯トイレ・簡易トイレの使用方法

新居　純一（にい　じゅんいち）　議員

高齢者対策について

全ての町民の生活を生涯にわたって支える社会保障施策の重要性は今後ますます増大

問 介護認定を受けている方々に、町主催の介護予防教室への参加を検討してほしい。

答 事業受入先との協議を含め、事業検討を行っていきたい。

問 いきいき百歳体操を町が主催となって、児童館等で空き時間を利用して開催してはどうか。

答 児童館の設置趣旨に鑑みると、大人が定期的に使用することは難しいと考えている。

いきいき百歳体操

災害時避難について

情報発信ツールの多重化に努めていきたい

問 避難行動要支援者名簿・個別支援計画はどれくらいの間隔で更新しているのか。

答 避難行動要支援者名簿の対象者更新を半年に1回行っており、新たに名簿登載となった方へ個別支援計画書作成の御案内をお送りする。また、既に作成済みの計画書は、住所や連絡先、家族構成など、登録時の記載事項が変更となった場合に、福祉課へ連絡をいただくことで、最新情報への変更を行っている。

問 避難行動要支援者への支援のため、町災害対策設置に併せ、「避難行動要支援者の支援班」（仮称）を設置したらどうか。

答 今後の参考にさせていただきたい。

英語教育について

徳島県英語教育推進計画COMPASSに基づいて英語学習を進めている

問 本町では、中学入学後にある新入生テストで、なぜ、英語だけが行われないのか。

答 小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新しい学習指導要領が実施されている。本来であれば、この大きな変化に対して、教育委員会や小中学校が情報連携し、方向性を協議し、方針を決定する必要があったと感じている。

問 小学校と中学校の主要5教科、英語、数学・算数、国語、理科、社会で、なぜ英語だけが使用教科書の出版社が、小学校と中学校で違うのか。

答 藍住町の教科書採択にあたっては、板野郡を一つの採択地区として、共同採択とすることが徳島県教育委員会により設定されている。そのため採択の結果として、英語だけ、出版社が異なったということである。

林（はやし）　茂（しげる）　議員

ごみの収集と民間委託について

ごみの排出量は年々減少傾向にある

問 ごみの収集は、町民と西クリの清掃職員たちとの共同作業で進めている。可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみなど分別を行い、ごみの減量化などきれいな町づくりを進めるために貢献してきました。①ごみの収集状況、ごみ集積所数と戸別収集の件数は。②高齢世帯には、戸別収集を希望すれば、戸別収集の実施を。③ごみの排出量は。④分別した古着や空き缶などの販売収入の状況は。⑤ごみ収集業務をなぜ民間委託にするのか。

答 ①令和6年6月6日時点で、本町全体で約3345件。戸別収集は、可燃ごみと不燃ごみが189件。可燃ごみのみが1906件。不燃ごみのみが4件。身体的理由等により、ごみ集積所までごみを出すことが困難である場合が82件。②ごみ集積所に持ち込めない方は、民生委員に状況等を確認いただいた上で、家の前まで職員が戸別に収集に行くようにしている。③

〈ごみの排出量〉

年度	排出量(単位:t)
令和元年度	8,327
令和2年度	8,564
令和3年度	8,488
令和4年度	8,290
令和5年度	7,834

④空き缶は、取引単価の変動により、収入が毎年増減している。古着は、回収量は概ね横ばいであり、収入は、取引単価の下落傾向に伴い、減少している。⑤どのような情報をもとに、質問されているのかとの、質問の趣旨確認(反問)が行われた

高齢者に対する支援策

様々な支援について、今後検討していきたい

問 身体障害者手帳の交付対象とならない人に対して、難聴者の補聴器購入費を助成すること。

答 現在のところは考えていない。

問 藍住町家具転倒防止器具等取付支援事業補助金の申請件数と補助金総額。町内世帯への普及率は。

答 申請件数が35件。補助金額が34万577円。補助金を交付した世帯の町内全世帯における割合は、0・2%。

再生可能なエネルギーへの転換

太陽光発電設備の設置への助成は、現在、導入を見送る方針としている

問 自然災害から命とくらしを守るために、世界中で注目されているのが、「資源をくり返し使える」「二酸化炭素を排出しない」再生可能エネルギーである。2050年までに温室効果ガスの実質ゼロを目指しています。①太陽光発電設置に対する町民への財政支援策を行うこと。②北島町は、太陽光発電導入事業に対し、環境省から4億2282万円の交付金を受けます。藍住町も申請して下さい。

答 ①設置を積極的に推進するための助成は慎重に対応していく必要がある。②適切な時期に宣言を行うことも視野に入れながらも、宣言の重みを、十分勘案した上で慎重に検討していきたい。

合同庁舎屋上太陽光発電

河北町議会行政視察

6月27日から28日にかけて、友好都市・山形県河北町議会から13人が、行政視察と両町の交流を深めるため来町されました。

河北町と藍住町は、昭和62年頃より交流が始まり、平成3年7月に友好都の締結を行い、本年で34年目を迎えることとなります。

2日間という短い期間でしたが、まちづくりについての研修や、交流会、両町を結び友好の礎となった染料、「藍」に関する文化施設の視察など、両町にとって実りある研修、交流となりました。

藍住町議会議員研修報告

7月2日に招集された交通移動支援対策特別委員会において、研修会を行いました。徳島大学教授の奥嶋政嗣氏を講師に迎え、「地域公共交通について」と題し、御講演をいただきました。

公共交通の評価に関わる観点や全国での取組事例、また、コミュニティバスやデマンド型乗合交通については県内での取組事例を交えながら、大変わかりやすく説明をしていただき、これからの本町の地域公共交通を考えていく上で、大変参考になる研修会となりました。

5月30日、「議員のためのハラスメント防止研修」動画の視聴による藍住町議会議員研修会を開催しました。

この動画は、一般社団法人公務員研修協会の代表理事である高嶋直人氏を講師として、全国町村議会議長会、全国都道府県議会議長会及び全国市議会議長会の共同で作成されたものです。

議会議員として法令を守ることはもちろん、社会人としての道徳や倫理観、知識を絶えずブラッシュアップし町民の皆様の期待に応える必要があると考えており、大変有意義な研修となりました。

令和6年度 町村議会議長会・副議長研修会

5月21日、東京国際フォーラムで開催され、米本議長と鳥海副議長が出席しました。

研修は、渡部全国町村議会議長会長より開会の挨拶が行われた後、次のテーマ・講師により実施されました。

議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る―町村議会議員のなり手不足対策検討会(全国町村議会議長会)『町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機』を読む―

町村議会議員のなり手不足対策検討会委員長(大正大学教授)　江藤俊昭氏

ハラスメント―自治体議員が注意すべきポイント―

弁護士(晴海パートナーズ法律事務所)・元 流山市政策法務室長　帖佐直美氏

将来の地方議会を担うのは誰か?―若者、女性、勤労者が参画する地方議会の実現―

慶應義塾大学法学部政治学科教授　谷口尚子氏

議員研修報告

「新人議員のための地方自治の基本」研修に参加して

藍住町議会議員　新居純一

5月8日から5月10日までの3日間、滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所で、「新人議員のための地方自治の基本」を受講してまいりました。

この研修は1期目の新人議員が、地域住民の期待と信頼に応えるために、社会情勢の変化や地域の諸課題、住民ニーズの把握に加え、地方議員が理解しておくべき地方自治に関する諸制度や基本的事項を収得するために行われています。

1日目は、同志社大学政策学部、野田遊教授から「地方自治制度の基本」と題して地方分権・財政・ガバナンス等について講義が行われました。

次に、全国市議会議長会、篠田光洋副部長から、地方議会の役割、議員の職務等についての講義が行われ、「議員のあり方」(代表の観念・意見を傾聴し、検討・利己的行動の禁止・執行機関と協力して行政の成績を挙げる)をこれから深く心に刻んでいきたいと思いました。

2日目は、静岡県立大学経営情報学部、小西敦教授から「地方議会と自治体財政についての講義があり、予算・決算・自治体財政の仕組みの基礎を学びました。

次に、新潟大学経済科学部、宍戸邦久教授から「地方議会と政策～条例検討を中心に～」の講義を受け、6名からなるグループワークがあり、前日の講義であった「議員のあり方」の「意見を傾聴し検討する」を実践し、より良いワークができました。

最終日は、近畿大学法学部、辻陽教授から「これからの地方議員に期待されていること」と題して講義がありました。辻教授からは、地方分権が進む中、地方議会の重要性が高まっている。このことをどうにかして地域住民に伝えることが大変大事であるとの強いメッセージがありました。私はこれまで、議会は町民の中に、議員は町民の中にあって活動するものと思っていたのでとてもよく理解できました。

最後になりますが、私は議員となって2か月余り、初めて聞く言葉・用語が多くありとまどっていましたが、今回の研修を受講し、講師の方々の説明により理解することができました。これからもしっかり地方自治を勉強して、藍住町を1つでも良くするように全力で何事にも取り組んでいきたいと思っています。

グループワークのメンバー

藍住町議会夏休み絵画コンクールを実施します！

テーマ	「未来の藍住町」
画材・用紙	・クレヨン、色鉛筆、水彩画など（ただし、折り紙、毛糸などの立体物の使用は不可） ・四つ切画用紙
応募資格	小学生から中学生（藍住町内在住の方） ※1人1点　未発表のもの
応募期限	令和6年9月30日（月曜日）午後5時必着 ※応募者は、応募規定をご確認ください。

↑応募規定・応募用紙のダウンロードはこちらから

陳情の取扱いについて

受理した陳情書の取扱いは、議長が議会運営委員会に諮り決定します。

陳情書は議会の開会中、閉会中を問わず提出していただけますが、議会運営の都合から、その定例会の議会運営委員会の前々日(土、日、休日、年末年始を除く)の午後5時までに受理したものについて取扱います。それ以降に受理されたものについては、次の定例会で取扱います。

↑詳しくはこちらから

わたしの一言

勝瑞　三輪　浩美 氏

～子どもの居場所【未来応援あいずみベース】の設立～

藍住町内に、子どもたちを支援する「子ども食堂」、「学習支援」、「居場所」などがどれくらいあるのかご存じでしょうか？

この度、町内７団体、松茂町１団体の計８団体で【未来応援あいずみベース】を設立しました。

この８団体が連携することで各団体の実践内容を共有し、月ごとに活動予定をカレンダーにまとめ、チラシやSNSなどで、教育機関や福祉機関、子ども子育て世代にお知らせすることで、身近にある「子どもの居場所」を利用していただきたいと活動を始めました。

これまでほとんど連携できていなかった行政機関とも、情報交換や共有を行い、子育て支援、子どものケア、学習支援など、子どもたちの健全な発達や成長を支援できるように続けていきたいと考えています。

私たちのような非営利の団体が継続して活動できますように、地域の企業様や生産者様からの寄付や物資の提供などのご支援、そして地域のボランティアスタッフの皆様のご協力をこれからもどうぞよろしくお願いします。

町民の皆様、利用してみたいところや子どもの居場所づくりにご関心がありましたら、ぜひ「未来応援あいずみベース」でご検索ください。ご連絡をお待ちしております。

議会のうごき

5月

2日　藍住町議会広報特別委員会
▼117号の校正について
8日　「徳島自動車道の4車線化」に向けた重要要望について（東京都）
8日～10日　市町村議会議員研修（滋賀県）　p11
9日～10日　山形県河北町表敬訪問（山形県）
21日～22日　町村議会議長・副議長研修会（東京都）　p10
22日　板野東部消防組合議会臨時会（北島町）
23日　商工会通常総代会
24日・議会運営委員会
▼令和6年第2回藍住町議会定例会の日程等について
29日　藍住町福寿連合会定期総会
30日・交通移動支援対策特別委員会
▼活動内容について
・藍住町議会議員研修会　p10

6月

5日　議会運営委員会
▼一般質問の通告について
・6月議会定例会開会
・議会全員協議会
▼物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について
▼東中富桜づつみ公園バーベキューエリアの運用等について
6日　藍住町自主防災組織等連絡協議会設立総会
8日　藍住町シルバー人材センター総会
13日・議会運営委員会
▼陳情書の取扱いについて
・6月議会定例会一般質問　p4～p9
19日・藍住町議会広報特別委員会
▼藍住町議会夏休み絵画コンクールの応募規定について
・6月議会定例会閉会
・議会全員協議会
▼陳情書の取扱いについて
・議会運営委員会
▼陳情書の取扱いについて
27日～28日　山形県河北町議会行政視察
29日　藍住町人権教育推進協議会総会
30日　板野東部消防組合消防操法大会（北島町）

7月

2日・交通移動支援対策特別委員会
▼研修会
・藍住町議会広報特別委員会　p10
▼118号の作成について
4日　板野西部防犯連合会総会
10日　徳島県環状道路建設促進期成同盟会総会（徳島市）
12日　徳島市正副議長就任挨拶
27日　あいずみ商工会納涼祭
30日　第79回徳島県町村議会議長会定期総会
31日　徳島県町村議会女性議員連盟総会（徳島市）

編集後記

任期が始まり5か月が過ぎました。7月には東京都知事選挙があり、個性的な候補者や攻撃的なやじなど、今まで以上に分断を感じるような印象的な選挙でした。

求めることは一人一人違いますがそれでも結局は平穏な日常なのだと感じます。

子供がいる家庭なら子育て支援、高齢者の方であれば安心できる社会保障を。

障害をお持ちの方なら不十分な社会支援に腹立たしく感じておられるのかもしれません。

目の前の課題に本音で議論をし、対立でも喧嘩でもなく、多くの人が幸せになれる政策を皆で考え取り組んでいきたいです。

（元木　春香）

藍住町議会広報特別委員会

委員長　竹内　君彦
副委員長　元木　春香
委員　栗島　和義
委員　新居　純一
委員　前田　晃良
委員　宮本　影子

発行／藍住町議会　〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1　☎(088)637-3127 FAX(088)637-3156　編集／藍住町議会広報特別委員会